

令和5年度 倉敷地域自立支援協議会 専門部会活動報告書

部会名	就労部会	
構成員（参加者）	<p>倉敷市障がい福祉課、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所、支援学校、基幹相談支援センター、地域活動支援センターI型（6ヶ所）、倉敷発達障がい者支援センター、指定相談支援事業所、企業（第1回）、倉敷市地域包括ケア推進室（第2回）倉敷市障がい福祉課事業所指導室（第3回・第4回）、倉敷市指導監査室（第4回）、おかやま若年性認知症支援センター（第2回）</p> <p>※回や目的によって、参加事業所を案内した。</p>	
今年度活動実績	定例会議（全4回）	<p>第1回「企業が考える障がい者雇用のフォーラム～障がい者雇用をしている企業担当者に聞く障がい者就労とは～」</p> <p>（障がい者雇用の取り組みについて、一般企業2社からの講演）</p> <p>第2回「若年性認知症の支援について～就労支援事業所の役割とは～」</p> <p>（若年性認知症支援センターとのコラボレーション企画。若年性認知症の就労について理解を深めた。）</p> <p>第3回就労継続支援事業所等の経営改善、生産活動の活性化を図り、持続的な事業所運営及び利用者への支援サービスの向上を目指す</p> <p>（倉敷市障がい福祉課事業所指導室とのコラボレーション企画。島根県障がい者就労事業振興センターからの講演、就労継続支援B型事業所より事例提供）</p> <p>第4回「令和5年度就労部会の振り返り」</p> <p>（就労部会の内容の共有とグループワークで課題や来年度に向けての検討をした。）</p>
	非定例会議（イベント等）	<p>第1回 登壇者との事前打ち合わせを実施（2回）</p> <p>第2回 登壇者との事前打ち合わせを実施（1回）</p> <p>第3回 登壇者との事前打ち合わせを実施（1回）</p>
	活動内容の詳細	<p>第1回は、障がい者雇用をしている企業から生の声を聞くことができ、福祉事業所からも支援目標につげることができて大変よかったという声が聞けた。</p> <p>第2回と第3回は他支援機関や行政とコラボレーションすることで、新たな発見や刺激を受けることができ、いろいろな視点からの学びを得ることができた。就労部会に参加することで、各事業所にとって意義のあるものにしてもらえるような内容を検討した。</p>
活動の中で明らかになった地域課題	<p>障がいがある人への働き方についての思いは各々の事業所にあるが、現場によってできることやそれぞれが持つ役割が異なるため、各事業所の取組みが異なる。地域全体として、同事業所同士が関わりを広げていく機会を作れる場としてほしい意見が寄せられた。価格交渉や工賃向上等で経営面をもっと学ぶ機会が欲しい事業所の要望が上がった。</p>	
上記に対して取り組みたいこと	<p>就労部会の場が多職種連携、情報収集の場となるよう、ネットワークづくりを繋げていきたい。さまざまな機関とコラボレーションすることによって、事業所が知りたい情報を提供できるようにしたい。仕事がしたい当事者の思いに繋がられるような関りを継続していきたい。</p>	

令和5年度 倉敷地域自立支援協議会 専門部会活動報告書

部会名	子ども部会	
構成員（参加者）	障がい児相談支援事業所、児童発達支援センター、児童発達支援事業所、保育所等訪問支援事業所、放課後等デイサービス事業所、教育委員会指導課、特別支援教育推進室、保健所（健康づくり課）、保育・幼稚園課、障がい福祉課、総合療育相談センター	
今年度活動実績	定例会議（全回）	<p>代表メンバー会：2回          児童発達支援センター：5回          障がい児相談支援事業所：2回          放課後等デイサービス：7回          保育所等訪問支援：4回          児童発達支援：6回          日中一時支援事業所：2回※          ※日中一時支援事業書連絡会は、自立支援協議会子ども部会まで組織化していない。</p>
	非定例会議（イベント等）	<p>合同意見交換会実施（児童発達支援センター・児童発達支援合同）          合同説明会（放課後デイサービス部会）</p>
	活動内容の詳細	<p>児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、保育所等訪問支援事業所、障がい児相談支援事業所等、日中一時支援事業所それぞれの機関で抱える課題、協議すべき事項が異なるため、全体的な意見を集約しつつ、協議の場を細分化した形で実施した。</p> <p>&lt;代表メンバー会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題について意見交換について</li> <li>・令和6年度の子ども部会が取り組むべき課題やテーマの策定</li> </ul> <p>&lt;児童発達支援センター&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度入所児童に関する手続き・調整会議</li> <li>・合同意見交換会の開催準備</li> <li>・児童発達支援センターの入所の流れについて検討</li> </ul> <p>&lt;障がい児相談支援事業所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援に繋がりにくい現状についてのアイデア出しについて</li> </ul> <p>&lt;放課後等デイサービス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同説明会</li> <li>・放課後等デイサービスの利用児における不登校について調査実施。</li> </ul> <p>&lt;保育所等訪問支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶話会</li> <li>・倉敷市の保育所等訪問支援サービスの利用手続きの視覚化</li> </ul> <p>&lt;日中一時支援事業所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達特性というフィルターを通して</li> <li>・障害児（者）の権利擁護 適切な支援と虐待の防止～日中一時支援事業～</li> <li>・強度行動障がいへの理解と対応のポイントについて</li> <li>・生活困窮者の自立支援について～倉敷市生活自立相談支援センターなどの支援</li> </ul>

	内容について～
活動の中で明らかに なった地域課題	<p>1 福祉サービスのプロセスが変更となり一定期間が経過、変更後のプロセスがうまく機能していない。再点検が必要ではないか。</p> <p>2 倉敷市全体で療育の総量規制を実施しているが、地域により需要と供給のバランスが見合っていない地域がある。</p> <p>3 保護者支援について⇒療育に繋がりにくい現状の中で、各所属で実施している保護者支援について整理が必要。</p> <p>4 児童発達支援センターの申込みにあたり相談員の役割や保護者のニーズに合わせた申込の流れを再検討すべきではないか。特にセンターへ見学にあたり相談員が2か所、保護者に同行が必要かなどは再検討すべき。</p> <p>5 アドバイザー事業について⇒アドバイザーが療育を勧める事例がある。本来のアドバイザー事業の趣旨からずれているのではないか</p> <p>6 日中一時支援事業について⇒日中の利用している児の区分について、アセスメントの取り方により療育手帳等の等級（障がい状態）より判定結果(区分)が軽く判定されるケースがあると聞いている。日中一時支援事業所も厳しい経営状況と聞いていることからアセスメントの取り方(どこに視点を置いて聞き取るのか等)について研修する機会などを学びの場が必要。</p> <p>7 療育等の福祉サービスを利用する最初の入り口と最後の出口の流れに停滞がみられるために、福祉サービスの利用ができない児童が出ている。入口支援・出口支援の強化が必要。出口支援として保育園などと連携が取れていない。</p>
上記に対して 取り組みたいこと	<p>上記内容で3・4・5・6を取り組む予定</p> <p>3 各機関が行っている保護者支援について整理や情報提供などを行う</p> <p>4 児童発達支援センター部会・相談支援部会にて申込の流れについて検討</p> <p>5 障がい福祉課より保育幼稚園課に説明・議事録共有を実施。</p> <p>6 相談支援部会でアセスメントの取り方などの研修を企画予定。</p>

令和5年度 倉敷地域自立支援協議会 専門部会活動報告書

部会名		精神部会		
構成員（参加者）		精神保健医療福祉教育35機関		
今年度 活動実績	定例会議 (全29回)	●精神部会定例会（4回）		
		開催日	内容	参加人数
		5月11日	○倉敷地域自立支援協議会精神部会の活動について(報告) ○精神保健福祉法の一部改正について(報告) ○自己紹介、地域課題についての意見交換	41人
		8月10日	○各専門分科会等の活動状況について(報告) ○自立支援協議会のHP、SNSについて(報告) ○障がい福祉計画等策定に向け部会から発信する課題について	40人
		11月9日	○私のピアサポート活動体験(ピアサポートコアメンバー会議メンバーによる体験発表) ○倉敷市のピアサポート活動体制について ○グループワーク「倉敷市でのピアサポート活動推進に向けて各々ができること、やってみたいこと」	47人
	2月8日	○各分科会等の活動報告(報告) ・地域移行・地域生活支援に関する専門分科会 ・ピアサポートコアメンバー会議 ・ひきこもり支援を考える専門分科会 ○精神保健福祉法の一部改正について(報告) ○令和6年度以降の部会活動について(意見交換)	36人	
	●精神部会におけるひきこもり支援を考える専門分科会（3回）			
	開催日	内容	参加人数	
	6月8日	○倉敷市保健所でのひきこもり支援について（報告） ○ひきこもり支援を考える専門分科会について（報告） ○当事者にとって安心できる地域について（グループワーク）	20人	
	9月14日	○第1回の振り返り ○ひきこもり支援におけるインフォーマルな取組について（NPO法人One田村氏） ○当事者にとって安心できる地域について（グループワーク）	23人	
	12月14日	○第2回の振り返りとひきこもり支援フォーラム2023の報告（報告） ○当事者にとって安心できる地域について（グループワーク）	22人	
	●地域移行・地域生活支援に関する専門分科会（3回）			
	開催日	内容	参加人数	
7月20日	○地域移行専門分科会の取組について（報告） ○地域移行促進のための映像資料について（報告） ○グループワーク ・地域移行促進のための映像資料の活用方法について	20人		
10月12日	○病院交流会の取り組みについて（報告） ○ピアサポート活動支援事業について（報告） ○グループワーク ・病院交流会や事例検討会実現に向けてやってみたいこと・出来ることについて	35人		
1月11日	○法改正及び65歳以上長期入院者の状況について（報告） ○話題提供 「高齢長期入院者の状況と退院支援」 「障がい福祉分野と介護・高齢者福祉分野との連携」 ○グループワーク	28人		

- ・日頃行っている高齢者福祉分野との連携等について
- ・更なる円滑な連携に向けて精神部会のできる

●ピアサポートコアメンバー会議（9回）

昨年度より、地域移行・地域生活支援に関する専門分科会における活動の一つとして開始。倉敷地域におけるピアサポート活動推進体制等について協議する。

【メンバー】岡山マインド「こころ」、かけはし会議、多機能型事業所 ちやるか、倉敷市玉島障がい者支援センターはばたき、備中玉島湊屋作業所、多機能・共生型事業体 ぐらしきピアぽーと、障がい福祉課、倉敷市保健所

開催日	開催内容
4月21日	○ピアサポートチームとして出来ることについて報告と協議 ○コ・サポーターとしての心得と禁止事項について協議 ○登録派遣事業の案について報告と協議
5月19日	○ピアサポート体制加算と登録派遣事業との兼ね合いについて報告 ○報償費の支払いについて報告 ○登録派遣事業におけるコーディネーター役について協議
6月16日	○7月の養成研修について報告 ○登録派遣事業のピアサポートチームの定義について協議 ○登録派遣事業におけるコーディネーター役の役割について協議 ○登録派遣事業の登録様式について協議
7月21日	○ピアサポートチームの定義について報告 ○ピアサポート活動をする際の事業所の注意事項について報告 ○報償費について報告 ○ピアサポート活動支援事業の案について報告と協議
9月15日	○ピアサポート活動支援事業について障がい福祉課事業所指導室との協議内容について報告 ○10月地域移行専門分科会、11月精神部会定例会の運営について協議
10月20日	○10月地域移行専門分科会の感想の共有 ○11月精神部会定例会の運営について協議 ○普及啓発活動について協議
12月15日	○11月精神部会定例会の感想の共有 ○普及啓発活動の資料作成について協議
1月19日	○普及啓発活動の進め方について協議 ○2月 自立支援協議会精神部会定例会について協議
3月15日	○ピアサポート活動支援事業における普及啓発活動について

●各専門分科会に関するコアメンバー会議（10回）

【メンバー】倉敷市保健所、（ひきこもり）NPO 法人 One、倉敷西部地域生活支援センター、（地域移行）まきび病院、玉島障がい者支援センター、和・相談支援センター

開催日		内容
4月6日	地域移行 ひきこもり 両部会合同	○元長期入院者の生活を映したビデオの編集状況について ○7月専門分科会の流れについて ○ピアサポートコアメンバー会議の進捗報告 ○第1回専門分科会の内容について ○ひきこもり支援者フォーラム（支援者向け研修）の検討 ○定例会の企画会議 ○各専門分科会間の情報交換
5月1日	ひきこもり	○第1回専門分科会の内容について ○ひきこもり支援者フォーラムについて
6月8日	地域移行	○元長期入院者の生活を映したビデオの編集状況について ○7月専門分科会の役割分担について ○ピアサポートコアメンバー会議の進捗報告と病院交流会につ

			いて
	6月23日	ひきこもり	○第1回専門分科会の振り返りについて ○第2回、第3回専門分科会の内容について ○ひきこもり支援者フォーラム2023について
	9月6日	ひきこもり	○第2回専門分科会について ○ひきこもり支援者フォーラム2023について
	10月3日	地域移行	○10月開催の地域移行・地域生活支援に関する専門分科会について ○病院交流会で使用するアンケートについて(市内4病院への意見聴取結果) ○地域移行促進映像資料の動画化について
	10月25日	ひきこもり	○第3回専門分科会について ○ひきこもり支援者フォーラム2023について
	12月4日	ひきこもり	○ひきこもり支援フォーラム2023の振り返りについて ○第3回専門分科会の振り返りについて ○第4回定例会での報告について
	12月5日	地域移行	○1月開催の地域移行・地域生活支援に関する専門分科会について
	1月15日	ひきこもり	○第3回専門分科会の振り返りについて ○令和6年度の専門分科会の方向性について ○第4回定例会での報告について
非定例会議(イベント等)	【ひきこもり支援フォーラム2023】		
	開催日等	内容	
	10月31日 83名参加	○第1部講演(内容:体験談・支援者に向けて) ひきこもりUX会議 林 恭子代表理事 石崎 理人理事  ○第2部 小さな交流会 ひきこもりUX会議 林 恭子代表理事 石崎 理人理事	
活動内容の詳細	<p>【精神部会定例会】</p> <p>・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた協議の場として、精神保健福祉法の令和4年度改正の内容、障がい福祉計画策定に関する周知や発信とともに、ピアサポート活動を推進できる地域を目指し、市内で今後のピアサポート活動を希望している当事者の体験発表や交流の時間を持った。意見交換やグループワーク、各専門分科会からの丁寧な活動報告等を行いながら、専門分科会で取り扱っていない地域課題を積極的に把握した。</p> <p>【地域移行】</p> <p>・地域移行促進に利用可能な、地域で暮らす元長期入院者の生活の様子を収めた映像作成(スライドを使用した講演の録画)やその活用方法の検討、今年度再開された病院交流会活動を推進する活動について検討を行った。</p> <p>・ピアサポート活動支援事業の具体的な体制案を検討し、予算要求をした。今後事業を進めるための普及啓発活動についての具体的方法について検討を行った。</p> <p>【ひきこもり】</p> <p>・倉敷地域のひきこもり支援に関係する社会資源の情報交換から、ひきこもりを経験している当事者が安心して暮らせる地域の実現に向けて、今後必要な社会資源とその創出に向けた協議を行った。ひきこもり支援フォーラムにおいて</p>		

		<p>専門分科会での検討内容についてひきこもり当事者の意見を聞き、更なる取り組みを検討した。</p>
<p>活動の中で明らかになった地域課題</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法改正による医療保護入院者等の地域移行促進の取組や長期入院者の高齢化等により、精神科病院、介護保険事業所を含めた地域援助事業者のそれぞれに連携上の不安がある。</li> <li>・病院交流会が再開されたが精神部会としての協力ができていない。</li> <li>・精神障がい者のピアサポート活動を推進する体制の構築にむけ、地域住民、関係機関等への更なる普及啓発が必要。</li> <li>・ひきこもり当事者の生きづらさやニーズについての理解を引き続き深める必要がある。ひきこもり当事者のニーズに基づいた支援体制、社会資源が限られており、支援者間のネットワーク強化を行う必要がある。</li> </ul>
<p>上記に対して取り組みたいこと</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院交流会へ精神部会としての参加。</li> <li>・介護高齢分野の支援者と協働で、精神障がいに関する学習等の企画を実施。</li> <li>・ピアサポート活動についての普及啓発活動の検討と実施。</li> <li>・ひきこもり当事者のニーズを聞く機会を持ちながら、既存の支援機関のネットワーク強化による支援充実について協議する。</li> </ul>

令和5年度 倉敷地域自立支援協議会 専門部会活動報告書

部会名		相談支援部会
構成員（参加者）		倉敷市地域活動支援センターI型（倉敷、西部、児島、玉島、水島、真備）、指定相談支援事業所、倉敷市障がい福祉課、同事業所指導室、早島町健康福祉課、倉敷市総合療育相談センターゆめぼる、倉敷地域基幹相談支援センター（事務局）など
今年度活動実績	定例会議（全4回）	全体会（4月18日、8月23日、11月17日、1月17日）
	非定例会議（イベント等）	スピノフ企画（令和6年1月9日）
	活動内容の詳細	<p>全体会では、それぞれのテーマに沿ってグループワーク等を実施し、地域課題の抽出を行った。また、相談支援専門員の実情や課題、困難ケースについて共有する場を設けた。各会で「相談支援の実務について」、「情報提供」の場を設け、倉敷市・早島町における福祉サービスの動向等を共有した。また、スピノフ企画では、令和7年度までに個別避難計画作成が市町村の努力義務となっていることを受け、実際に、個別避難計画を模擬で作成してみるという演習を交えた内容で開催した。</p> <p>【第1回全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度相談支援部会の取組みについて</li> <li>相談支援に関わる留意事項について</li> <li>倉敷地域基幹相談支援センターにおける相談支援体制の強化について</li> <li>意見交換「地域課題について」</li> </ul> <p>【第2回全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見制度について</li> </ul> <p>【第3回全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講義：若年性認知症について</li> </ul> <p>【第4回全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひきこもり状態の方への支援</li> </ul> <p>【スピノフ企画】倉敷市防災危機管理室防災推進課と企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別避難計画に関する実務について</li> <li>個別避難計画に関する演習</li> </ul>
活動の中で明らかになった地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援や放課後等デイサービス終了後に繋げる福祉サービスに限られており、切れ目のない支援の提供が困難である。</li> <li>エリアによって社会資源に差がある。</li> <li>新規案件が受けにくい状況にあり、相談支援従事者が足りない。</li> </ul>	
上記に対して取り組みたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、開催して抽出されたそれぞれの課題についてまとめ、次年度の企画・内容に反映させる。</li> <li>相談支援部会で出てきた課題をそのままにせず、課題にどのように対応していくか、またどのような仕組みがあれば良いのかを具体的に掘り下げる取り組みが必要である。</li> </ul>	



令和5年度 倉敷地域自立支援協議会 専門部会活動報告書

部会名	地域部会	
構成員（参加者）	倉敷市障がい福祉課、倉敷地域基幹相談支援センター、倉敷西部地域生活支援センター、真備地域生活支援センター、児島障がい者支援センター、水島障がい者支援センター、玉島障がい者支援センター、倉敷地域生活支援センター	
今年度活動実績	定例会議（全回）	<p>第1回令和5年4月18日(火)</p> <p>第2回令和5年6月20日(火)</p> <p>第3回令和5年8月23日(水)</p> <p>第4回令和5年10月17日(火)</p> <p>第5回令和5年12月22日(金)</p> <p>第6回令和6年2月20日(火)</p>
	非定例会議（イベント等）	令和6年3月9日（土） 6センター交流会
	活動内容の詳細	<p>年6回、各エリアでの活動状況（サロン状況、事業所情報、指定相談支援事業所等との集まり、地域や高齢分野との連携ややり取りなど）の共有や地域課題について協議を行った。</p> <p>第1回</p> <p>(1) 各エリアの状況確認</p> <p>(2) 一般就労をされている方の居場所について</p> <p>(3) 児童期のライフステージごとの所属と連携の在り方について</p> <p>(4) 地域課題に対しての取り組む仕組みについて 等々</p> <p>第2回</p> <p>(1) 新型コロナが5類となり、各サロンの運営状況、感染症対策等について</p> <p>(2) 医療ケア児の受け入れ先について</p> <p>(3) 一人暮らしのショートステイについて</p> <p>(4) 保健所より、精神部会について</p> <p>(5) 6センター交流会について</p> <p>第3回</p> <p>(1) 行動障がいの方が利用できる生活介護が少ないことについて</p> <p>(2) 各エリアでサービスの偏りがあることについて</p> <p>(3) 人材育成について</p> <p>第4回</p> <p>(1) 福祉サービスの利用について（県外のA型利用や地域定着などに）</p> <p>(2) 共有や協議シートについて</p> <p>(3) 子ども部会より サービスの利用の流れと相談支援事業所探しについて</p>

		<p>第5回  (1)障がい者差別解消支援助地域協議会について  (2)生活・働く知る会について</p> <p>第6回  (1)各エリアの状況の確認  (2)B型と生活介護の併用利用について  (3)来年度について</p>
<p>活動の中で明らかに  なった地域課題</p>		<p>(・地域の「現状・問題」から「地域課題」としてとらえる視点が必要)  「各地域や幼児から成人、それぞれで起きている問題」と「地域部会が取り組むべき課題」の整理。地域課題を他の部会や他機関と共有や情報交換を行ってきたが、課題のままになっている。地域課題の解決に向け協議の場や仕組み作り等具体的な動きをして行く必要がある。</p>
<p>上記に対して  取り組みたいこと</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した情報共有や検討ができるよう、課題検討シートを使用し、課題の見える化、整理をしていく。</li> <li>・2ヶ月ごとにコンスタントに行うことで、前回の内容を振り返りながら、課題解決に向けて他の部会や他機関との横断的な連携、情報交換を行うことができる。また、具体的な動きを検討していく場を作り、課題解決に向けての仕組みづくりや、重点的に取り組むものを具体的に検討。</li> </ul>

令和5年度 倉敷地域自立支援協議会 専門部会活動報告書

部会名		生活支援部会
構成員（参加者）		倉敷・早島地域に所在する生活支援に関わる事業所 コアメンバー：王慈療護園（橋本）、根っこせとうち（深津） 生活介護事業所ぬか（中野）、ブルー.キャンパス（橋本） 事務局：社会福祉法人 四ツ葉会（松岡、赤松）
今年度 活動実 績	定例会議 （全回）	5/9 生活介護事業所説明会企画会議 7/4 コアメンバー会議（研修企画会議） 8/17 コアメンバー会議（研修企画会議） 2/6 コアメンバー会議（研修企画会議）
	非定例会 議（イベ ント等）	7/27（木） 生活介護事業所説明会 8/23（水） 第1回生活支援部会 研修会「精神障がい者の支援について」 9/8（金） 人材交流研修調整会議 9/11（月）～11/30（木） 人材交流研修実施期間 12/15（金） 人材交流研修報告会 2/20（火） 第2回生活支援部会 研修会「意思決定支援について」
	活動内容 の詳細	今年度はコロナ前より実施希望が多かった内容の研修を展開した。 第1回研修会においては、参加者からの強い要望であった「精神障がい者の方への支援」について、岡山マインド「こころ」の多田氏、メンバーの方に登壇頂き、2018年の豪雨災害、そこからの活動、地域創りの展開について講話頂き、参加者34名が当事者の本音や支援者としての大切なマインド・支援の在り方について学ぶ機会となった。 第2回研修会では、2024年の報酬改定においても重要なテーマである「意思決定支援」について、ACPエバンジェリストの大河内氏を招き、参加者39名が現状の利用者支援や権利擁護について振り返り、改めて利用者の自己選択・自己決定の機会、一人ひとりの「思い」を引き出す支援について考える機会となった。 4年ぶりに再開した「人材交流研修」については、今年度は過去最多となる45名の参加があり、生活支援員だけではなく、看護師、作業療法士の参加もあり、多職種の人材がそれぞれ2日間程度、他事業所での取り組みを体験し、自事業所との違いや障がい特性への支援の手がかりを学ぶ機会となった。
活動の中で明らかになった地域課題		直接支援に関わる人材が自立支援協議会の取り組みや内容についての理解が薄く、自分たちの支援・活動が何に繋がっているのか、利用者、地域のためになっているのかが見えていない状況にある。
上記に対して取り組みたいこと		人材育成という面では、研修企画によってニーズに応じた展開を行うことはできるが、サービスの持続可能性という面においては、利用者にとって必要なサービスの開発や連携システムの構築を行うために、研修以外にも定例的な事例検討機会によって、具体的に行政に提言できる流れを作っていきたいと考える。

令和5年度 倉敷地域自立支援協議会 専門部会活動報告書

部会名		教育部会
構成員（参加者）		倉敷市障がい福祉課、早島町健康福祉課、倉敷地域基幹相談支援センター 各地区I型（6か所）、倉敷就業・生活支援センター、早島支援学校 倉敷まきび支援学校、倉敷琴浦高等支援学校、倉敷支援学校
今年度 活動実 績	定例会議 （全回）	第1回 倉敷地域自立支援協議会 教育部会 R5,5,25 14:00～16:00（会場：倉敷市水島障がい者支援センター） 第2回 倉敷地域自立支援協議会 教育部会 R5,11,7 14:00～16:00（会場：倉敷市水島障がい者支援センター） 第3回 倉敷地域自立支援協議会 教育部会 R5,3,1 14:00～16:00（会場：倉敷市水島障がい者支援センター）
	非定例会議 （イベント等）	開催なし
	活動内容 の詳細	「生活介護事業所説明会」（R5.7.27） 卒業時生活介護事業所利用希望者を対象として、新型コロナウイルス感染対策を講じて倉敷まきび支援学校で開催。 「福祉制度説明会」（R5.8.1） 高等部1年生の保護者を対象とし、新型コロナウイルス感染対策を講じてくらしき健康福祉プラザで開催。 「生活・働くについて知る会」 高等部2年生の生徒、保護者を対象とし、各地区の支援センターと倉敷就業・生活支援センターの役割についての説明会を行った。 倉敷西部地区：倉敷支援学校を会場に開催（R5.8.17） 水島地区：水島障がい者支援センターを会場に開催（R5.8.17） 児島地区：児島障がい者支援センターを会場に開催（R5.8.18） 倉敷地区：早島支援学校を会場に開催（R5.8.18） 真備・玉島地区：玉島障がい者支援センターを会場に開催（R5.8.22） 「卒業時移行支援会議」（R6.1.24より各会場にて順次開催） 高等部3年生の生徒、保護者を対象とし実施。各地区の支所やくらしき健康福祉プラザなどを会場に対面形式で会議を行った。
活動の中で明らかになった地域課題	各部会との連携	
上記に対して取り組みたいこと	各部会の研修会に参加し、連携を図るようにする。	